



vol.34  
2014.9.1発行

# Digest

みんな元気に「輝いて生きる」

それが私達の  
願いです。

名張育成会の「今！」がわかる

MiRAi と MiRAi report

そして 輪 プログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUプログラム MIRAI

MIRAIレポート 名張

YOUプログラム RIN

発行：名張育成会MiRAiプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936  
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：男武正基(社会福祉法人名張育成会) 編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字：千秋育子

## 「地域住民として当たり前。」

桔梗が丘自治連合協議会 会長 辻森保藏さん 桔梗が丘地区民生委員児童委員協議会 会長 上島芳子さん

2013年度の初め、名張育成会の事業計画で「地域啓発」の一環としてさらに地域との連携を働きかけていこうという方針が出された。そこでまず名張育成会に近く、多くのグループホームでお世話になっている桔梗が丘地域との連携を図ろうと、同自治連合協議会さんと懇談の機会を作っていただいた。そのいきさつやこれまでの桔梗が丘地域の取り組みについて、桔梗が丘自治連合協議会会長の辻森保藏さんと桔梗が丘地区民生委員児童委員協議会会長の上島芳子さんにお話を伺った。

様々な交流やイベントの会場となる桔梗が丘公民館にて。

桔梗が丘地域は、これまでも名張育成会とたくさんの交流を行ってきている。

例えば、桔梗が丘地区のグループホームの利用者、その職員、民生委員が参加して毎年11月に、公民館の講堂にて小運動会を行っている。玉入れ、パン食い競争などで大変盛り上がるそうだ。またある番町では1月に婦人会が主催する餅つきを通じて、グループホームの利用者とも良い交流ができています。

他にも桔梗が丘地区の夏祭りには、毎年名張育成会の事業所「ういず」や「とも」がパンやクッキーの模擬店を出店したり、逆に名張育成会が主催する5月の「育成園まつり」では、桔梗が丘地区民生委員の障害者部会メンバーがお寿司などの出店をサポート、大勢の地域の方が名張育成会に足を運んでいる。

さらにホームのある番町で行っている防災訓練や草刈りでは、グループホーム利用者の積極的な参加で自然な交流が生まれているそうだ。

最初の懇談で、名張育成会機関紙「MiRAi」の全戸回覧をこころよく引き受けて下さり、以来毎号回覧いただくことで地域住民の方との交流に一役買っている。また現在名張育成会施設見学の計画も進行中で、今後さらなる相互理解のための交流が深まっていくことが期待される所だ。



お二人の思いを伺った。

「特別にイベントを立ち上げるのではなく住民として当たり前地域運営に参加してもらい、これからも単発で終わらない交流をしていきたい。すでに地域の小さなグループが交流を重ねる活動をしている。これまで通り背伸びせず、障害者との交流が特別なことなく、当たり前の一つとなっていてほしい。」と辻森会長。また、上島会長は「以前小学校の教員をしていた時に支援学級にいた生徒に町でぽったり出会い『先生〜』と話しかけてくれて、『今は工場で働いて充実している』と生き生きと話してくれたことがあったんですが、随分と立派になり、びっくりしました。彼が地域(グループホーム)で暮らしているからこそ再会ができた。こんな風にごく普通のご近所づきあい

1人の人の成長を見守っていける地域づくりをしていきたい。地域での理解はだんだん深まってきましたが、やはり接する機会を増やしていくことが一番。障害を持つ子と半日、一日と一緒に過ごす中で、愛おしさが沸いてきて、離れ辛くなるという経験を自分もしました。色んな人が触れ合いを重ねていけるような機会をつくっていききたい。」とご自身の経験談も含めて話してくれた。



上島芳子会長  
「『草の根』というか、日常的に関わることで染み込んでいく理解が大切だと思います。」

地域住民として当たり前暮らす。それこそがグループホームの目的だ。真の社会福祉が実現されるまちづくりのため、桔梗が丘地域が先駆けとなりモデルケースとなっていていてくれることを感じた。



辻森保藏会長  
「地域運営のイベントに、地域の一員として当たり前、参加していただろう。それが理想の形だと思っています。」

(文) 田口知恵子  
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。

ホームヘルプサービス(ゆーゆ)



ハンバーグを食べよう

写真の彼女、食事をされていますねえ。メニューは「ハンバーグとかぼちゃの煮物」、美味しそうですね・・・って、今回は食事の支援ではなく通院支援のレポートで、彼女は言語聴覚士の先生によって摂食指導中なのです。

食道がまっすぐになるよう、彼女の身体と顔の位置を整えてからスタート。

そして、しっかり咀嚼(そしゃく・・・摂取した食物を歯で咬み、粉碎することで消化を助け、栄養をとることができる)できるよう、言語聴覚士の先生が手を添えて顎を上下に軽く動かし、咀嚼(そしゃく)を促します。

言語聴覚士の先生の指導を受け、上手に口や舌を動かし、あっという間に完食!その顔があまりに美味しそうだったので、通院支援を行ったヘルパーは「今日はハンバーグを食べよう!」と固く心に誓ったのでした(笑)

※言語聴覚士は、言葉(失語症や言語発達遅滞など)、聴こえ(聴覚障害など)、声や発音(音声障害や構音障害)、食べる機能(摂食・嚥下障害)などの障害について対処しています。



〈連絡先〉名張市西原町字長尾2625  
TEL/FAX:0595-65-0874  
Email:yuyu@n-ikuseien.jp

★MIRAIレポートブログの「ホームヘルプ支援グループ」をクリック下さい。

ひびき・レインボークラブ

祝!10周年 ひびき・レインボークラブ

ひびき・レインボークラブが8月1日で10周年を迎えたのを機に、歴代の所長さんをはじめ、ボランティアさん、利用者さんといっしょにお祝いのひと時を過ごしました。

会場はひびき元所長 向井さんが活けたお花に彩られ、司会の大役を務めた利用者さんのお2人は、事前に何度も練習もして当日に備えました。

さて、理事長さんのご挨拶、オレンジヴォイスの美しいコーラスに続いたコーヒータイムで、ボランティアさんなどによる懐かしい話に花が咲く中、楽しい「スライドショー」の始まりです。10年を振り返って、みなさん「若い〜!」の声が・・・懐かしい映像によって大きな笑いが途絶えない中、みんなの感想を聞き、更に大・大・大爆笑!おかげ様で大変楽しい会となりました。

今回司会進行を努めてくれた方々本当にお疲れ様でした。大きな拍手をどうぞ!また、たくさんの方に来ていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。みなさん、これからも末長くよろしくお願ひ致します。



名張市地域活動支援センターひびき  
住所:名張市美旗中村2326  
※ひびきはレインボークラブと同じ建物にあります  
TEL:0595-67-4177 FAX:0595-65-5233

レインボークラブ(就労継続支援事業B型)  
住所:名張市美旗中村2326  
TEL:0595-67-4188 FAX:0595-65-5233

従たる事業所  
丸之内レインボークラブ(就労継続支援事業B型)  
新住所:名張市夏見4-1  
TEL・FAX:0595-63-7744(これまでと同じです)

★MIRAIレポートブログの「精神保健支援グループ」をクリック下さい。



ブログより

名張育成園の活動、ひとつずつ!

名張育成園では、赤ちゃんからおじいさん、おばあさんまで、毎日さまざまな活動をしなが地域の中で暮らしています。

そのような方の暮らしぶりやスタッフの活動などを紹介するブログ「MIRAI-report」から、選り抜きの話題をピックアップしました。

ほんの少しからでも福祉に親しみを持っていただけるよう、思いを込めてご紹介いたします。

<http://www.you-blog.jp/blog/miraireport/>

施設入所支援(成峯)



介護用リフトで双方快適!

私たちが取り組んでいる「人が人を抱えない介護」の一つ、『介護用リフト』を紹介いたします。

機械による介護は冷たいと思われがちですが、人の手による介護の温かみを忘れることなく、声掛けとスキンシップを大切にすることで、安心して移乗していただいています。

さて、人の手だけの移乗との大きな違いは、小柄な女性職員一人でも安全に行え、また移乗中も笑顔でコミュニケーションを取ることができることです。また、キャスターによって簡単にベッドや食堂、また浴室などいろいろな場所に移動できるので、座る・立つという行動の介助を様々なシーンで繰り返して行なうことができます。その間も職員は利用者笑顔で声を掛けることができるので、双方の快適な環境に貢献しています。

そのような、利用者の快適と安全、それに腰痛予防という私たちの労働環境改善に向けた「人が人を抱えない介護」の取り組みはまだまだ始まったばかりですが、今後活用を広げていきたいと思っています。

〈連絡先〉名張市美旗中村2326  
TEL:0595-65-0868 Email:seihou@n-ikuseien.jp  
★MIRAIレポートブログの「入所支援グループ」をクリック下さい。



生活介護(とも)



土日開所日でのプール支援

毎日、本当に暑い日々が続いていますね。やっぱり、そんな暑い夏の日にはプール!!と、いうことで暑い夏のある日プールへ行ってきました。当日は晴天のまさにプール日和!出発前に、しっかりと防水タイプの日焼け止めを塗って、万全の日焼け対策を行って行きました。さてプールでは、浮き輪で浮かんでプカプカとのんびりしたり、イルカのように潜ってみたり、またプールサイドで好きなものを食べたりと、それぞれ暑さを味方につけて楽しまれていました。夏の楽しい思い出が、また一つ増えたかな?

〈連絡先〉名張市美旗中村2326  
TEL:0595-65-3774 FAX:0595-66-5577  
★MIRAIレポートブログの「通所支援グループ」をクリック下さい。